



島根県の経済情勢

令和 6 年 11 月 7 日

財務省中国財務局
松江財務事務所

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 飯野
電話 (0852) 21-5231 (内線 4630)



ざいちゅう

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している」

項目	前回（6年7月判断）	今回（6年10月判断）	前回比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

（注）6年10月判断は、前回6年7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

【各項目の判断】

項目	前回（6年7月判断）	今回（6年10月判断）	前回比較
----	------------	-------------	------

個人消費	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	持ち直している	→
生産活動	一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある	一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある	→
雇用情勢	持ち直しの動きに一服感がみられる	持ち直しの動きに一服感がみられる	→

設備投資	6年度は前年度を下回る見込み	6年度は前年度を下回る見込み	→
企業収益	6年度は増益見込み	6年度は増益見込み	→
企業の景況感	「下降」超幅が縮小している	「上昇」超に転じている	↗
住宅建設	前年を下回る	前年を上回る	↗
公共事業	前年度を上回る	前年度を上回る	→

【先行き】

先行きについては、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

ドラッグストア販売は、化粧品などが好調であり、前年を上回っている。家電大型専門店販売は、エアコンなどが好調であり、前年を上回っている。一方、コンビニエンスストア販売は、日配食品などが低調であり、前年を下回っている。百貨店・スーパー販売は、百貨店の閉店による影響のほか、衣料品などが低調であり、前年を下回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、小型乗用車などが低調であり、前年を下回っている。

また、主要観光施設及び主要温泉地の入込客数は、堅調な旅行需要の下で、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 取扱いブランドの充実化などから、化粧品が好調。韓国コスメなども若年層を中心に購買の動きがみられる。(ドラッグストア)
- 夏場において、エアコンが好調に推移しており、売上げを牽引している。その後も、厳しい残暑の影響で顕著に伸びている。(家電大型専門店)
- 値上げによる販売単価の上昇は頭打ちで、弁当など主力の日配食品で芳しくない状況が続いている。(コンビニエンスストア)
- 初夏の時期は、夏物衣料に動きがみられたが、お盆以降は目を向けられにくくなった。9月に入っても残暑が厳しく、秋物衣料が低調。(スーパー)
- 物価高や車両価格の上昇などから需要が伸び悩んでおり、コンパクトカーなどで苦戦が続いている。(自動車販売)
- 客室稼働率は高水準で推移している。例年、お盆期間の反動で落ち込む時期においても高い稼働率を維持しており、旅行需要は依然として根強い。(宿泊)
- 帰省客のほか、リニューアルした店舗で観光客による利用が増えており、来店客数は前年を上回っている。(飲食)

■ 生産活動 「一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある」

汎用・生産用・業務用機械は、国内外の需要不振などから減少している。輸送機械は、台風による自動車メーカーの工場稼働停止などに伴い減少している。一方、鉄鋼・非鉄金属は、航空機関連向けの需要が好調なことなどから増加している。電気機械・情報通信機械は、法人向けの更新需要が堅調なことなどから増加している。窯業・土石は、建築資材の需要が上向いていることなどから増加している。電子部品・デバイスは、自動車やスマートフォン向けの需要が上向いていることなどから増加している。

- 国内向けでは、市場の縮小傾向が続いており、生産計画を下回る低調な状況。海外向けについても、高金利の影響などから需要が減少しており、生産計画を引き下げた。(汎用・生産用・業務用機械)
- 一部自動車メーカーの生産再開により、生産は回復傾向にあるが、台風によりメーカーが工場稼働を一時停止した影響で、一部ラインを停止することとなり、若干の下振れが生じた。(輸送機械)
- 航空機関連向けの需要が旺盛で、受注が増加している。一定のリードタイムを要することなどから、急伸はないものの、生産量が徐々に増えつつある。(鉄鋼・非鉄金属)
- 法人向けの機器更新需要により、期首計画よりも生産が上振れている。(電気機械・情報通信機械)
- 県内における建設投資に伴い、建築資材の生産量がやや増加している。また、関西圏や山陽圏におけるビル・マンション向けの受注も伸びており、今後生産量の増加が見込まれる。(窯業・土石)
- 自動車向けで、世界生産台数の増加に伴い需要が堅調であることに加え、スマートフォン向けについても、緩やかな需要回復期を迎えており、生産量が増加している。(電子部品・デバイス)

■ 雇用情勢 「持ち直しの動きに一服感がみられる」

新規求人数は減少しているほか、有効求人倍率も低下傾向にある。なお、法人企業景気予測調査（6年7-9月期）の従業員数判断BSIをみると、「不足気味」超幅は高水準で推移している。

- 新規求人数減少の背景の一つとして、採用活動が実を結ばない中で、求人を諦めて業務効率化や省人化を進め、人手不足の解消を図ろうとする事業所が増えているものとみられる。(職業紹介)
- 自動車整備士が慢性的に不足していることから、最近、外国人技能実習生の受入れを始めた。(自動車販売)
- 理工系人材の採用に苦戦している。大卒者にこだわることなく、工業系の高校生にも採用枠を広げ、入社後に育成するスタンスに切替えている。(電気機械)

■ 設備投資 「6年度は前年度を下回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年7-9月期

- 製造業は、鉄鋼などで増加するものの、情報通信機械や業務用機械などで減少することから、全体では減少見込みとなっている。
- 非製造業は、金融、保険などで減少するものの、小売や運輸、郵便などで増加することから、全体では増加見込みとなっている。

- 今年度は生産設備の維持更新や合理化などが中心で、新棟建設による生産能力増強を行った前年度と比べると減少する計画。(情報通信機械)
- 一部店舗の移転新築や建替えに加え、老朽化した物流拠点の更新などの建設投資が主。(小売)

■ 企業収益 「6年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年7-9月期

- 製造業は、食料品などで減益となるものの、鉄鋼や生産用機械などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業は、情報通信などで増益となるものの、建設やリースなどで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超に転じている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年7-9月期

- 企業の景況判断BSIは、「上昇」超に転じている。なお、先行きは、翌期に「上昇」超幅が拡大し、翌々期に「下降」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、分譲住宅が減少しているものの、貸家、持家が増加していることから、前年を上回っている。

■ 公共事業 「前年度を上回る」

- 公共工事前払金保証請負金額(年度累計)で見ると、県などで減少しているものの、市町村、独立行政法人などで増加していることから、前年度を上回っている。

島根県の経済情勢

資料編

目次	ページ
1. 個人消費	1
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	5
5. 企業収益	5
6. 企業の景況感	6
7. 住宅建設	6
8. 公共事業	6

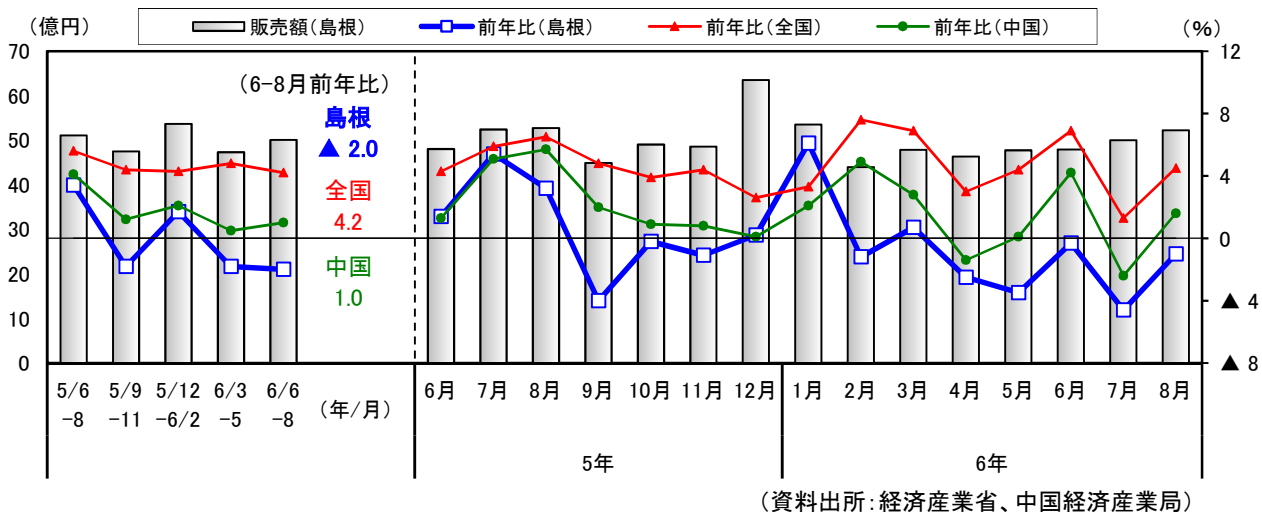
※ 本資料のグラフは各機関の公表数値を基に作成している。なお、公表されていない一部項目の数値については、当所で算出している。

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 飯野
電話 (0852)21-5231(内線 4630)

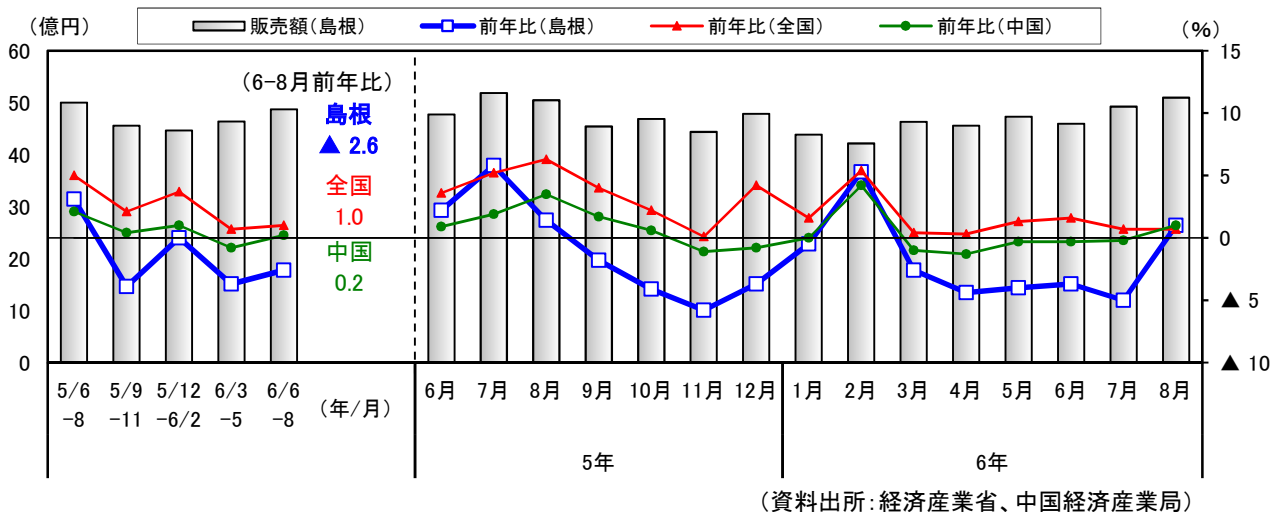
1. 個人消費 持ち直している

(注) (1)～(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示

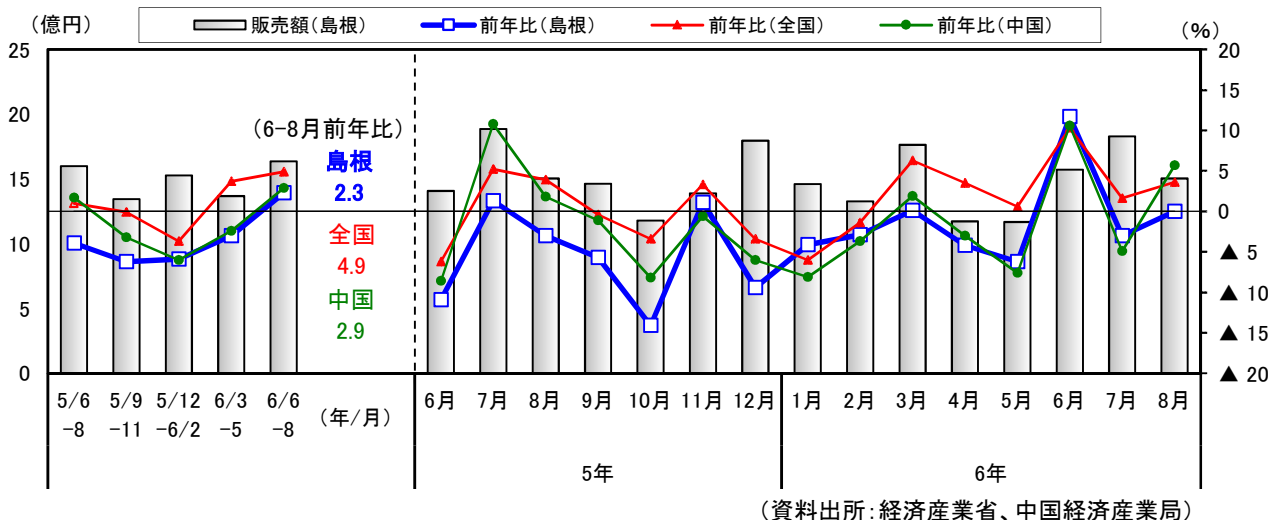
(1) 百貨店・スーパー販売額(全店舗)



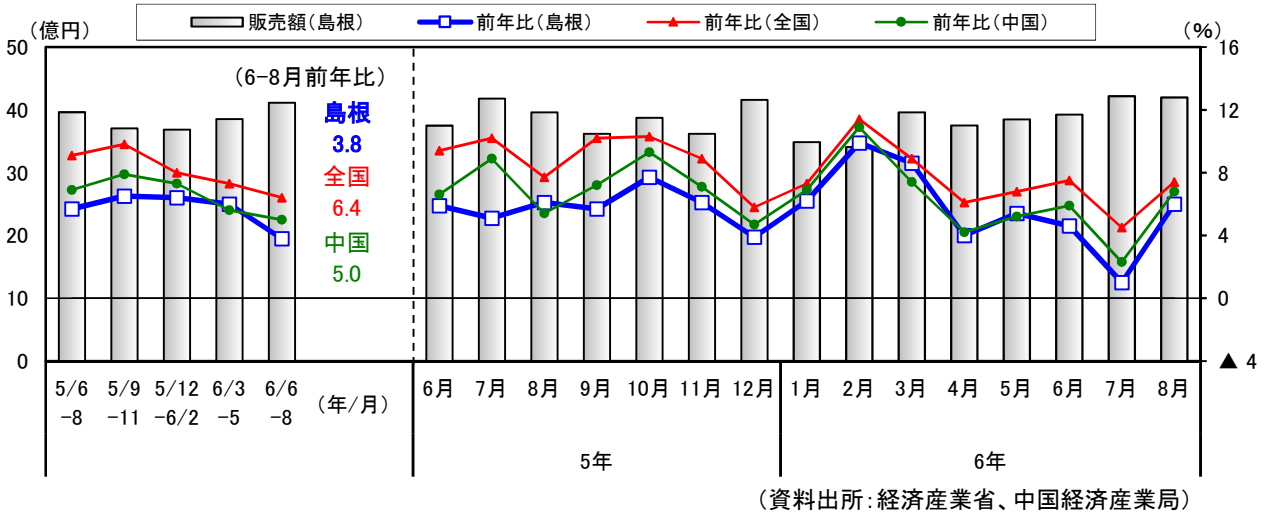
(2) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



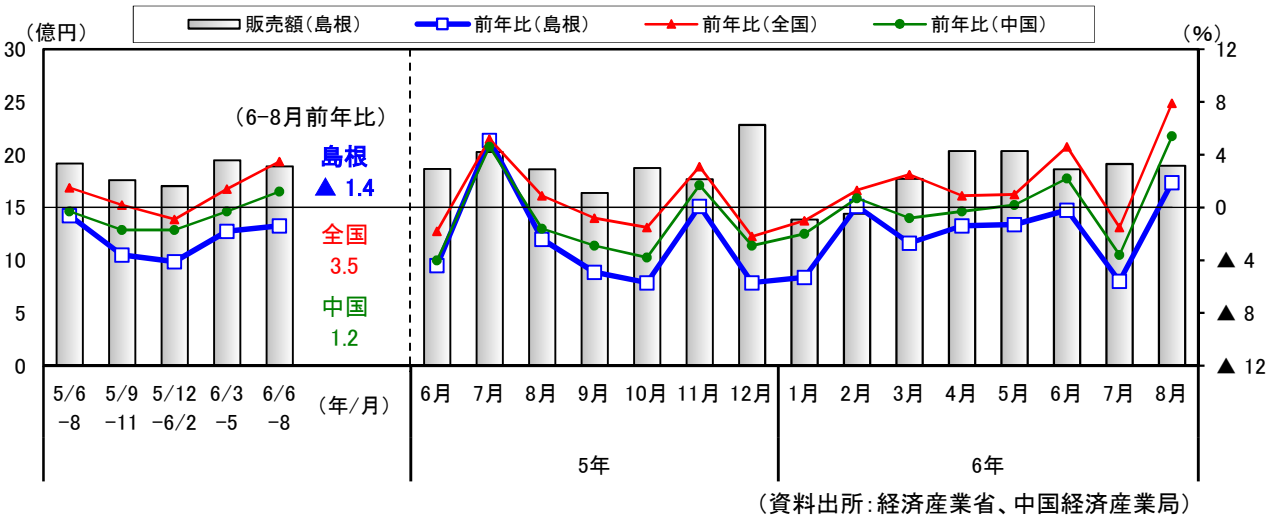
(3) 家電大型専門店販売額(全店舗)



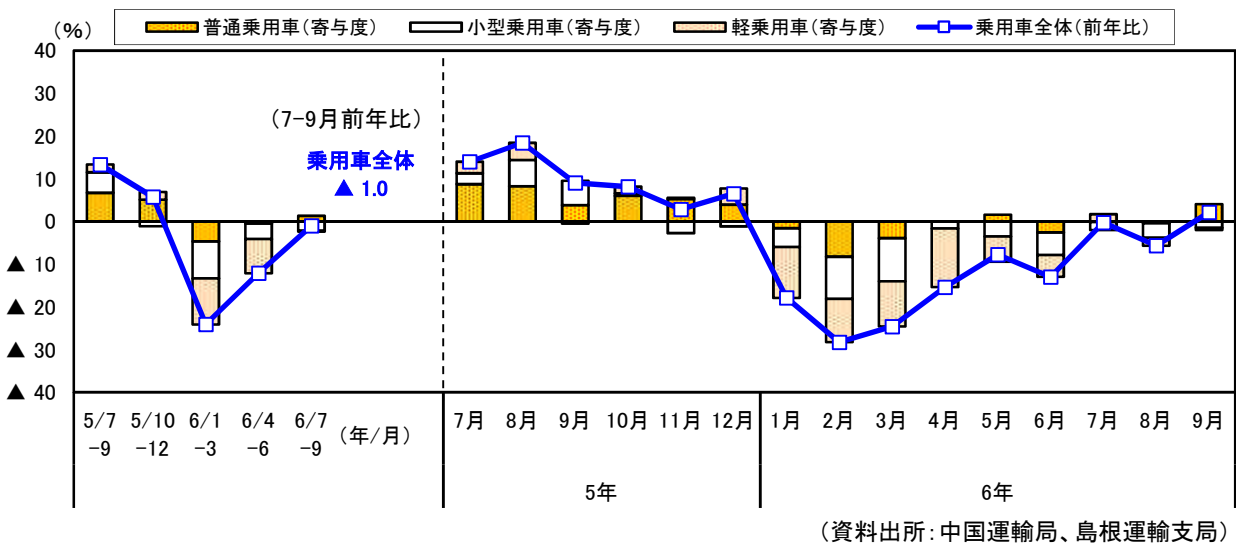
(4)ドラッグストア販売額(全店舗)



(5)ホームセンター販売額(全店舗)



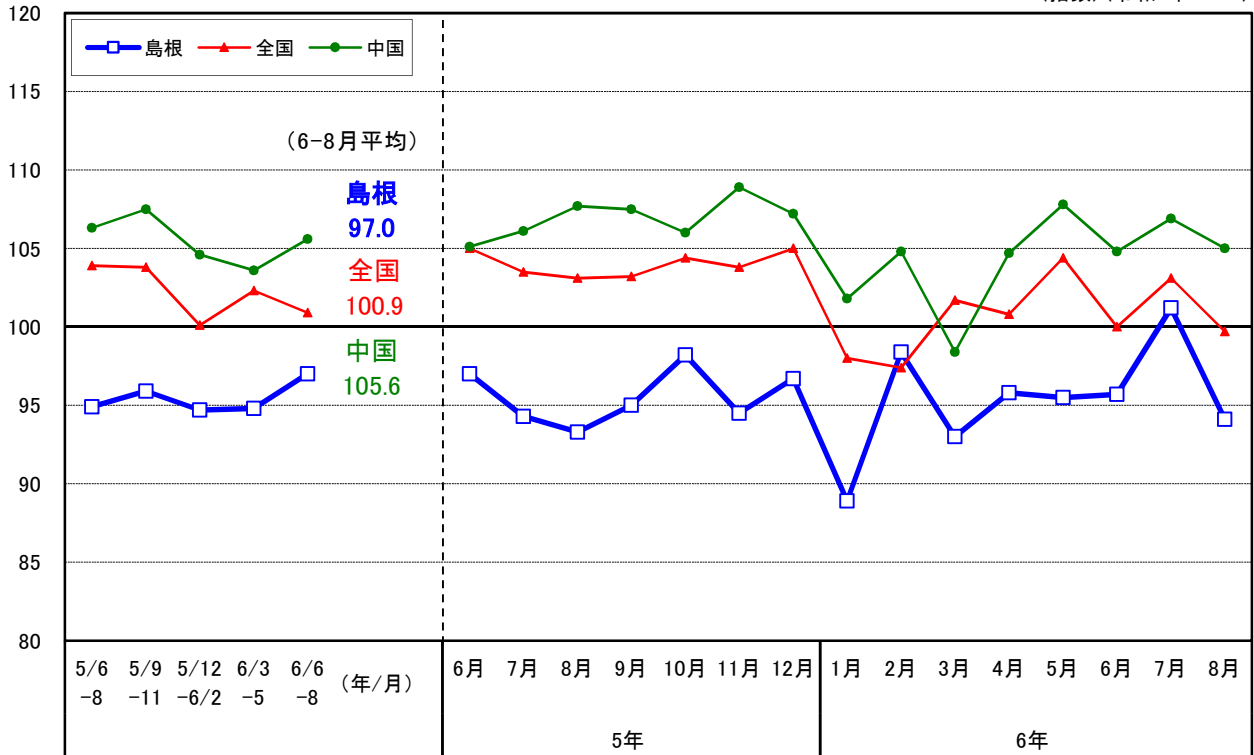
(6)乗用車販売(新車登録・届出台数)



2. 生産活動 一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

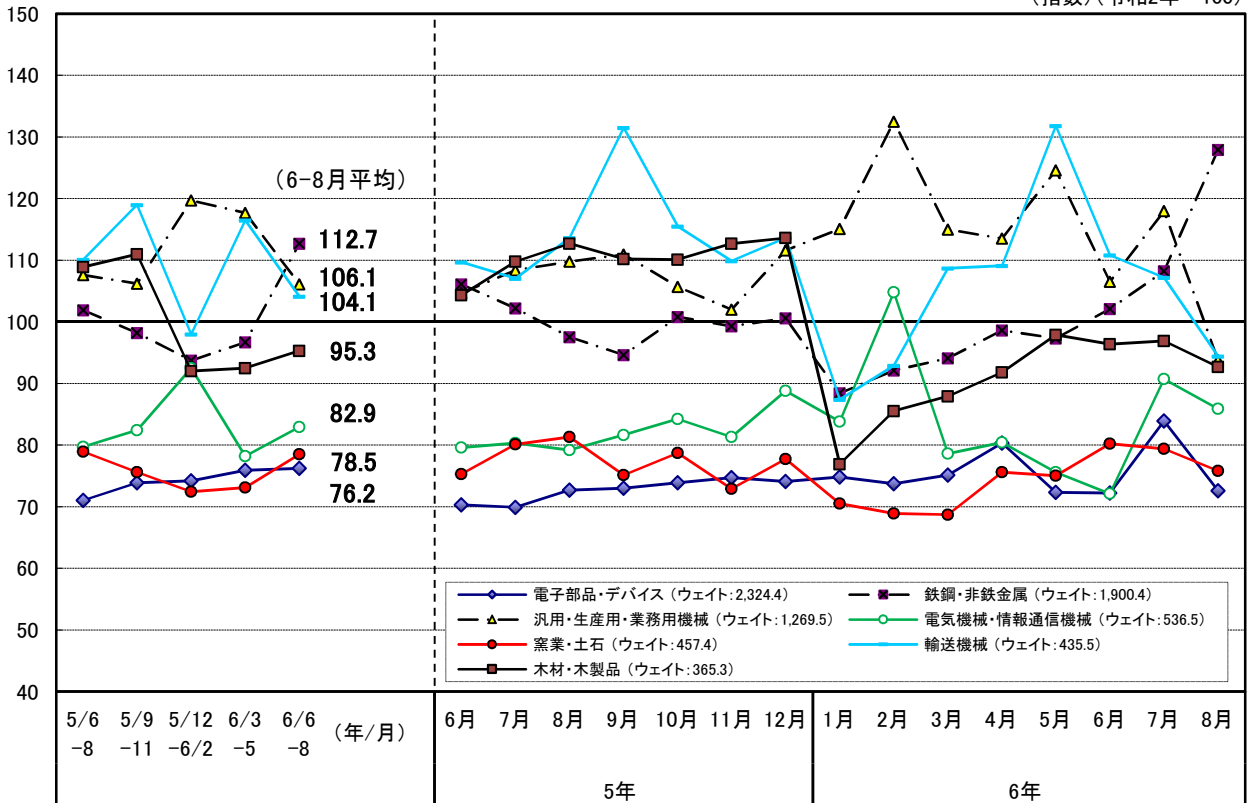
(指数)(令和2年=100)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局、島根県統計調査課)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数)(令和2年=100)

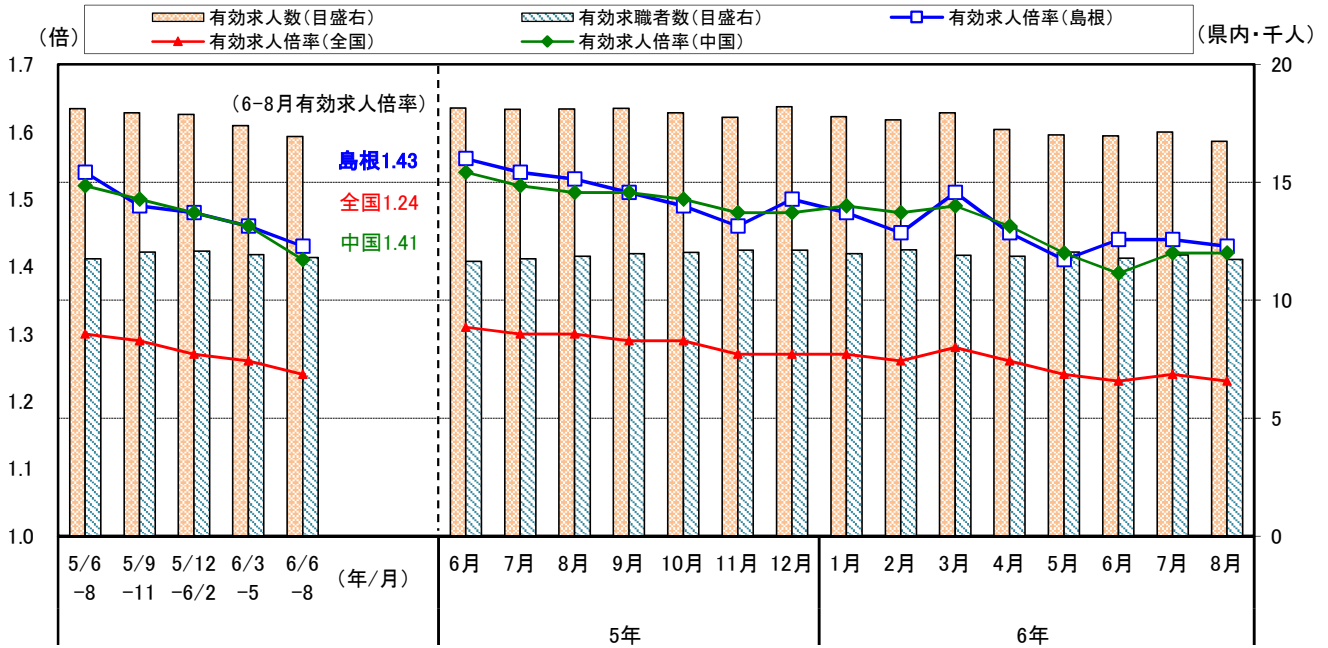


(資料出所: 島根県統計調査課)

3. 雇用情勢 持ち直しの動きに一服感がみられる

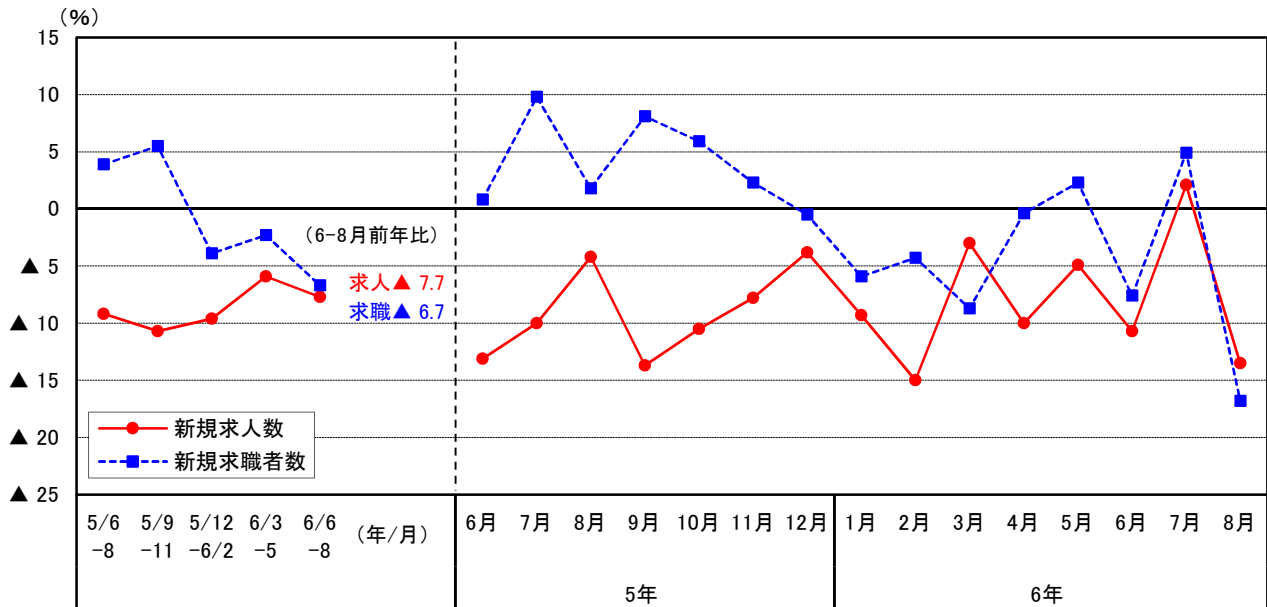
(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人人数と有効求職者数は、1月あたりの平均を表示

(1) 有効求人倍率、有効求人人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所:厚生労働省、島根労働局)

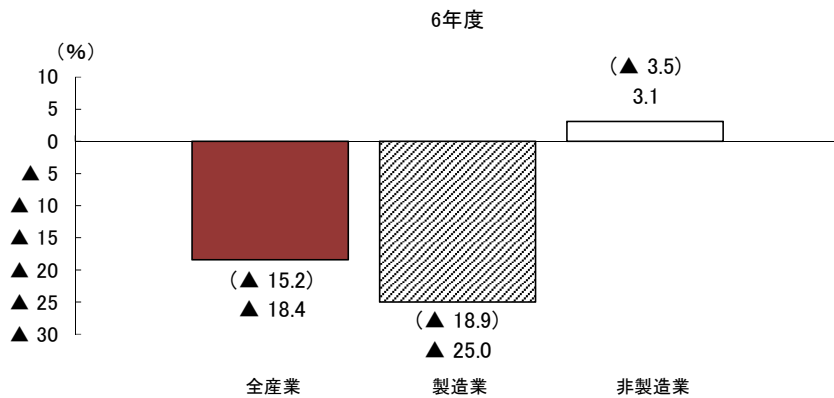
(2) 県内新規求人人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所:島根労働局)

4. 設備投資 6年度は前年度を下回る見込み

設備投資の前年度比増減率

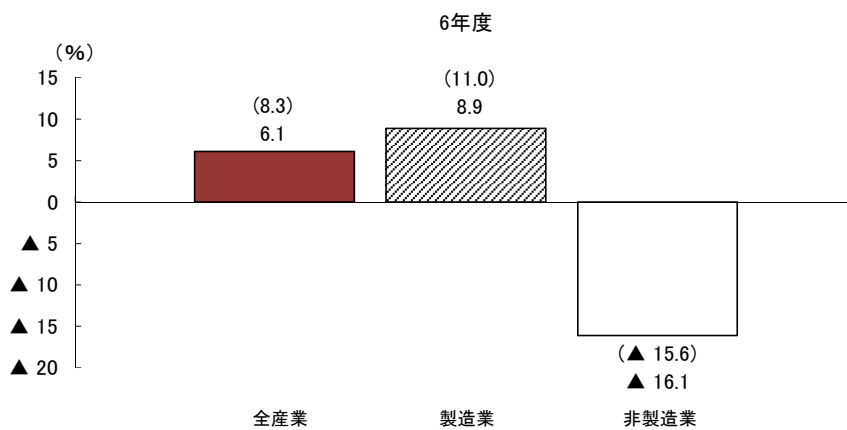


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(6年7-9月期)結果
 2. 土地購入額を除き、ソフトウェア投資額を含む。
 3. ()書きは前回(6年4-6月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

5. 企業収益 6年度は増益見込み

経常利益の前年度比増減率

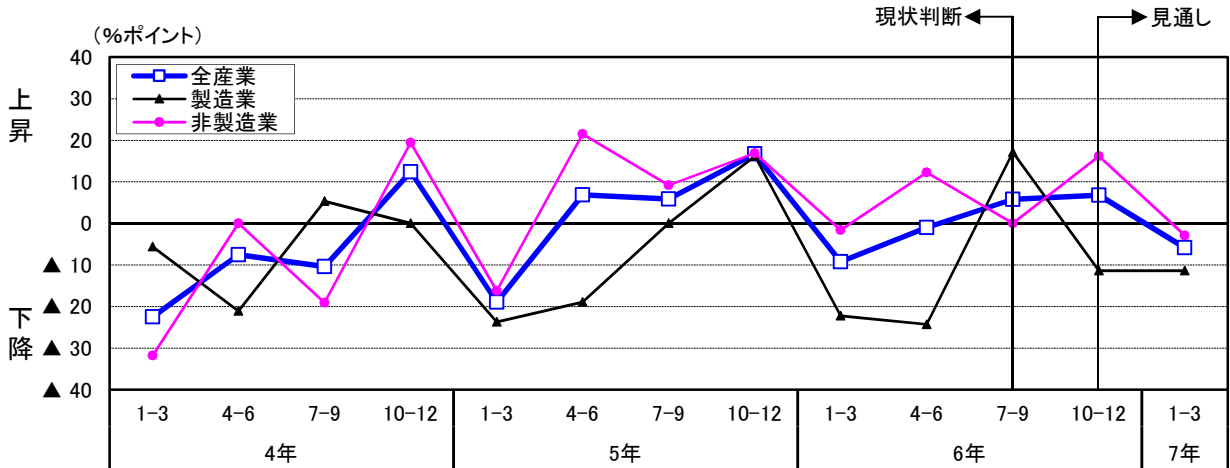


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(6年7-9月期)結果
 2. 電気・ガス・水道業及び金融業、保険業を除く。
 3. ()書きは前回(6年4-6月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

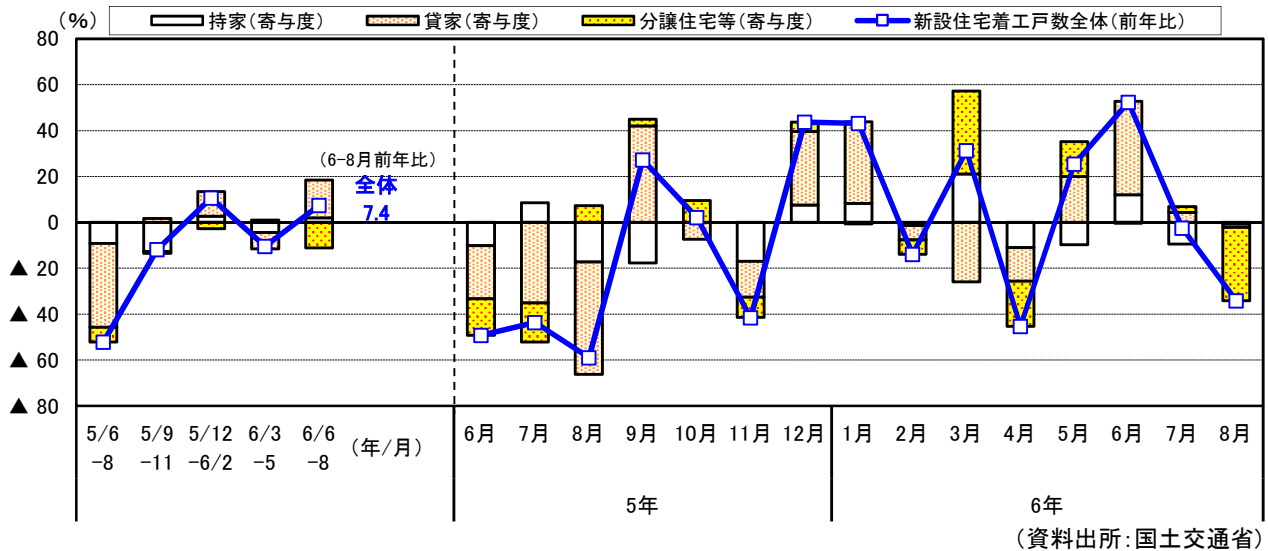
6. 企業の景況感 「上昇」超に転じている

景況判断BSIの推移(原数値)(BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



7. 住宅建設 前年を上回る

新設住宅着工戸数(前年比)



8. 公共事業 前年度を上回る

公共工事前払金保証請負金額(年度累計前年度比)

